

木材利用推進に向けた動き

令和2年2月5日

林野庁

オリンピック・パラリンピックにおける木材利用の推進

2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日 閣議決定）（抜粋）

4. 大会を通じた日本の再生

(2) 日本文化の魅力の発信

～（略）～ 日本には、～（略）～木材・石材・畳等を活用した日本らしい建築など、多様な日本文化がある。文化プログラムの推進も含め、こうした多様な文化を通じて日本全国で大会の開催に向けた機運を醸成し、東京におけるショーウィンドウ機能を活用しつつ、日本文化の魅力を世界に発信するとともに、地方創生、地域活性化につなげる。



政府の取組（2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営の推進に関する政府の取組の状況に関する報告(令和元年6月)）（抜粋）

（有益な遺産（レガシー）の創出

大会を機に訪日する多くの外国人に対して日本の魅力を発信するため・・・競技会場における木材利用の推進等について、関係府省庁が連携して取り組んでいるところである。



- 日本の木材活用リレー
- 被災3県の木材を含む47都道府県の森林認証材を活用した国立競技場の軒庇
各競技会場で木材利用
- 北海道産タモ材を使用したメダルケース、テーブルやイス等備品での木材利用

「今後の主な取組【内閣官房・農林水産省等】」

・施設や備品等での具体的な木材利用事例を活用した我が国の木材利用技術及び木の良さの

P R

林野庁のこれまでの取組と今後の方針

これまでの取組

関連施設や備品等における木材利用に関する情報提供等

- 過去のオリパラ施設での木材利用、仮設建築物に木材を使用し再利用を行った事例等の紹介
- 公共建築物の木造化等に対し支援→オリパラ来訪者等が活用する施設(東急電鉄駅等)での木材利用
- 調達情報等を地方自治体等を通じて広く伝達→木製メダルケースの採用

森林認証材の安定的・効率的な供給に向けた取組

- 都道府県等に対し安定的・効率的な供給の協力を呼びかけるとともに、需要者等への森林認証材の普及啓発を実施

施設等での具体的な木材利用事例を活用した我が国の木材利用技術、木の良さのPR

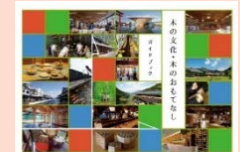
- 各種イベント等でオリパラ施設等での木材利用についてPR
- オリパラ来訪者等が活用する施設についてウッドデザイン賞を通じたPR
- 文化の祭典でもあるオリパラを契機に「木の文化」による「木のおもてなし」を紹介



全国47都道府県から森林
認証材の供給体制確立



静岡県富士山世界
遺産センター



木の文化・おもてなし
ガイドブック

今後の方針

オリパラを契機に木材利用や木の文化を更に発信

- 農林水産省や林野庁広報媒体を通じた木材利用事例の紹介
- 木材利用の理解醸成事業を活用した木材利用技術、木の良さのPR
- ビレッジプラザで活用した地域材のレガシー利用の提案等木材利用をレガシーとする取組の推進
- インバウンド向け「木の文化」による「木のおもてなし」の実践

CLT PARK HARUMI (地域材を用いたCLTパビリオン)

- 岡山県真庭市から提供されたCLT材を使用
- CLTの魅力を伝え、文化・情報を発信する拠点として運用
- 2020年秋に真庭市の国立公園蒜山に移築予定



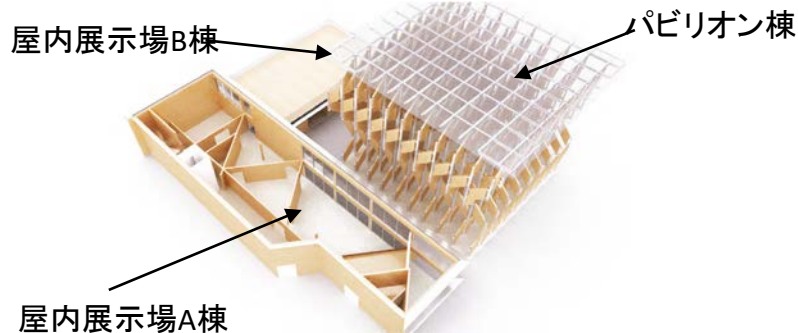
「パビリオン棟」外観



「屋内展示棟A棟」外観
(軒部分に木組み細工)



「屋内展示棟A棟」
吹き抜けの階段の木組み細工



「屋内展示場B棟」1階カフェ入居スペース



CLTの端材を用いたスツール

国立競技場横のホテルの木質化



国立競技場の外観との調和を図るため外装にスギ（福井、栃木県産等）を使用。



神宮外苑の風景と呼応する木や石などの自然素材を内装にも使用。

（三井ガーデンホテル神宮外苑の杜プレミアホームページより）

オリパラを契機に発信する日本の木の文化・おもてなし



公開座談会 & 現地見学会
『世界に誇る日本の
「木の文化・木のおもてなし」を考える』
～インバウンド促進・地方創生・地域材の需要拡大に向けて～

【日時】2020年2月14日(金) 10:00～11:30
【場所】神田明神「明神会館・文化交流館」 【参加費】無料

隈 研吾氏 デービッド・アトキンソン氏 涌井 史郎氏 神田明神文化交流館EDOCCO
(建築家、東京大学 教授) (日本文化財研究家) (岐阜県立森林文化アカデミー学長) (「ウッドデザイン賞2019」特別賞(木のおもてなし賞)受賞)

世界からの日本への注目が高まる2020年に、我が国が培ってきた「木の文化」を活かした「木のおもてなし」を通じたインバウンド促進・地方創生、地域材の普及啓発・プロモーション等を通じた需要拡大等の可能性について広い視野から議論するため、第一線で活躍する隈 研吾氏(建築家)、デービッド・アトキンソン氏(日本文化財研究家)、涌井 史郎氏(造園家)の3名による「公開座談会」を開催します

木材利用を推進する最近の動き

- 全国知事会における国産木材の活用を推進するプロジェクトチームの結成や、都市における中高層建築物や非住宅分野での木造・木質化を推進する議員連盟の発足、経済同友会による木材利用推進全国会議の設立など、木材の利用促進に向けた取組が進展。

全国知事会 国産木材活用プロジェクトチーム

- 設立：H30年10月11日(H31.4時点で45都道府県が参加)
- リーダー：小池東京都知事
副リーダー：尾崎高知県知事
- 活動方針：国産木材活用に関する調査・研究を進めるとともに、都道府県横断的な課題について国に対する提案・要望活動を行う
- これまでの活動：国産木材の需要拡大に向けた提言や国産木材需要拡大宣言をまとめ、農林水産大臣及び国土交通大臣等に要請活動を実施



国産木材活用プロジェクトチーム会合の様子
(H30.10.11)



吉川 農林水産大臣への要請活動
(H30.11.8)

(自)森林を活かす都市の木造化推進議員連盟

- 設立：H31年4月18日
- 発起人：吉野正芳 代表発起人他23名
- 入会者：103名 (R元.10.23時点)
- 目的：都市における中高層建築物や非住宅分野への木造・木質化を強力に推進し、国家的課題の地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化等の実現を目指すため、国へ政策提言を行うこと等

経済同友会 木材利用推進全国会議

- 設立：R元年11月7日
- 発起人：44経済同友会、41都道府県知事、48市町村長
- 活動方針：国産木材を利用しやすい環境づくり、木材利用が環境や社会に与える価値の共有、林業分野の生産性向上と新たな技術の普及等に向けた活動を展開

民間建築物等における木材利用促進に向けた懇談会 (通称「ウッド・チェンジ・ネットワーク」)

<趣旨>

- 民間非住宅建築物等における木材利用の促進に向け、建設事業者、設計事業者や実際にこれら建築物の施主となる企業が一堂に会する懇談会を開催し、木材利用に関する課題の特定や解決方策、木材利用に向けた普及のあり方等について協議、検討を行い、木材が利用しやすい環境づくり、日本全国に木材利用を広げていくプラットフォームづくりに取り組む。

【ウッド・チェンジ・ネットワーク参加企業等】(R元.11月時点)

施主

- (株)セブン-イレブン・ジャパン
- 東京海上日動火災保険(株)
- 東急電鉄(株)
- 日本マクドナルドホールディングス株式会社
- ヒューリック(株)
- (公社)国際観光施設協会
- (一社)日本ビルヂング協会連合会

学識経験者

- 東京都市大学 大橋好光 教授

関係団体

- ウッドソリューション・ネットワーク(農林中央金庫)
- (一社)中大規模木造プレカット技術協会
- (一社)日本プロジェクト産業協議会
- 全国森林組合連合会
- (一社)全国木材組合連合会
- (一社)日本林業経営者協会

建設事業者

- SMB建材(株) ○ (株)大林組
- (株)シェルター ○ (株)JM
- 住友林業(株) ○ (株)竹中工務店
- 東急建設(株) ○ ナイス(株)
- ポラス(株) ○ 前田建設工業(株)
- 三井ホーム(株) ○ 三菱地所(株)

行政等

- 林野庁(事務局)
- 国土交通省住宅局(オブザーバー)
- 全国知事会 国産木材活用PT(オブザーバー)
- 森林総合研究所(オブザーバー)

設計事業者

- (株)久慈設計 ○ (株)日建設計

<目的>

- ① 木造のイメージをチェンジ
- ② 低層非住宅・中高層建築物を木造にチェンジ
- ③ 持続可能な社会へチェンジ

木材を活用した公共建築物の事例

<大槌町文化交流センター「おしゃっち」>

岩手県大槌町

木造



- H30年3月竣工
- 延べ面積：約2,217㎡
- 木造3階建て
- 木材使用量：約463m³
- 平成27年6月に施行された改正建築基準法に基づく木造3階建て1時間準耐火建築物。

<みやこ下地島空港ターミナル> 沖縄県宮古島市

木造+鉄骨造+RC造



国内・国際線共用搭乗待合室

- H31年3月竣工
- 延べ面積：約12,027㎡
- 地下1階地上1階建て
- CLT使用量：約1530m³
- 空港ターミナルとして全国初となる「ネット・ゼロ・エネルギービル」。CLTを床と壁、家具等に使用。

<東急池上線戸越銀座駅> 東京都品川区

木造+鉄骨造



- H28年12月竣工
- 延べ面積：約678㎡
- 木造一部鉄骨造
- 木材使用量：約120m³（多摩産材）
- 同じ池上線の旗の台駅においても、CLTを活用した木造駅を整備。

<江東区立有明西学園> 東京都江東区

木造+鉄骨造+RC造



- H30年2月竣工
- 延べ面積：約24,500㎡
- 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造及び木構造）5階建て
- 木材使用量：約1,166m³
- 構造材の一部木造化及び内装木質化。教室や廊下の柱・梁には耐火集成木材を活用。

木材を活用した建築物の事例

<東京発条製作所本社ビル> 東京都大田区

木造+鉄骨造
+鉄筋コンクリート造



- H30年9月竣工
- 延べ面積：約706㎡
- 地下1階鉄筋コンクリート造、地上1～2階鉄骨造、地上3～6階木造
- 木材使用量：約113㎡
- 木材の軽くて強いという特徴を活かして鉄筋コンクリート造4階建てビルを6階建てに建て替えた事例。木造とすることで、既存建物重量以下に抑え、既存コンクリート杭の再利用を可能とした。

<Park Wood 高森>

宮城県仙台市

木造+鉄骨造



外観完成予想CG

- H31年2月竣工
- 延べ面積：約3,605㎡
- 鉄骨造+木造10階建て
- 木材使用量：約230㎡
- CLTを床材として使用した10階建て高層建築物であり、柱に2時間の耐火性能を持つ木質耐火部材を使用。

<スターバックス コーヒー ムスブ田町2階店> 東京都港区

木質化



- H30年12月竣工
- みなとモデル協定木材（湯沢市産ナラ材等）を家具や内装、アート作品に使用
- スターバックスでは地元の木を店内のテーブルに活用する取組「地元テーブルプロジェクト」を展開中（2019年12月現在19店舗）

<マクドナルド 五条桂店> 京都府京都市

外装木質化



- R元年12月開業
- 「ウッド・チェンジ・ネットワーク」のメンバーであるマクドナルドの店舗の外装で国産材を利用
- これから新規出店、改装、建て替えをする全国のマクドナルド店舗において、可能な部分で国産材を外装および構造材の一部で積極的に活用する方針

建設予定の木造高層建築物（建設中含む）

＜フラッツウッズ木場＞ 東京都江東区

木造+鉄筋コン
クリート造



外観

- R2年3月竣工予定
- 地上12階建て
- H30年11月から建設。
- 総戸数約250室の家具・サービス付賃貸住宅。
- 部材に、「燃エンウッド®」「T-FoRest® Wall」などを採用

＜岩本町3丁目計画＞ 東京都千代田区

木造+
鉄骨造



- R2年3月竣工予定
- 延べ面積：約645㎡
- 地上8階建て
- R元年5月より建設。
- CLTを構造材として採用した高層事務所建築
- 3～8階の床にCLTを使用。（CLT使用量：約57m³）。

＜銀座8丁目計画＞ 東京都中央区

木造+鉄骨造



- R3年竣工予定
- 延べ面積：約2,451㎡
- 地上12階、地下1階建て
- 木造商業ビルを計画。
- 構造材だけでなく、ファサードデザインにも木材を活用。

＜玉川大学学生寮＞ 東京都町田市

木造



- R4年竣工予定
- 延べ面積：約6,150㎡
- 地上9階建て
- 中高層純木造耐火建築物では、国内最大級。
- 内装材に学内の間伐材を一部活用。
- 燃えどまり型の木質耐火部材（COOL WOOD）を採用